

H. P. Report

情報家電の現状 (1)

情報家電という言葉がここ数年いろいろな雑誌などで話題となっています。情報家電とはいったい何なのか、情報機器と家電製品のどこに接点を持とうとしているのか。考えてみようと思います（特に文献参照しませんので、情報が間違っているかもしれませんがその場合はご指摘下さい）。

情報家電という場合前提となっているものに、今の情報機器が使いにくいということが有ると考えます。20年ぐらい前に誕生したパソコンは、初めはマニアックなもので、到底家庭に入ってくるものでは有りませんでした。価格も高く、使えるプログラムも少なく、プログラム言語の「BASIC」が全盛で、「アスキー」などの雑誌にはプログラムが載っていてそれを自分で入力していたりしました。その残りが今の学校での情報処理授業にあるようです。それでも家計簿ソフトや健康管理用ソフトなどがあつたようですが、パソコンで家計簿をやっている人を私はあまり聞いたことがありません。そのころは会社にワープロが入り、事務処理にパソコンが使われるようになった時代です。意欲をもってパソコンを購入した人はいたでしょうが、結果的には会社の仕事の続きをするかゲームをするかで、到底誰もが使えるということは無く、普通の人には近寄りたがいのものであつたようです。

では一方家電品とはどのようなものでしょうか。家電品は普通テレビ、冷蔵庫、洗濯機などの一般に生活に使われる電化製品で、誰もが使えるものだと思います。電源に接続してスイッチを入れれば使えるのが家電品の一般的なイメージではないでしょうか。確かにこのごろの家電品は多機能になり、説明書を充分読まなければ使えない、機能のうちのほんの一部だけしか使っていないようなものもあります。ケーブルが接続できない、ビデオ予約ができないなどの話はよく聞きます。家電品は、機能を追加することによってほかとの差別化をする時期と、多機能になったものをいかに簡単にするかを売り文句として販売する時期とが繰り返しているように思います。それがそのときのユーザーズですから、それをうまく取り込んでいくのが家電品開発の目的のような気がします。

情報家電といった場合、どのような製品が出てくるかが注目されていますが、では、家庭に必要な情報とはいったい何なのでしょう。これまで家庭に入ってきた情報は、新聞によるもの、ラジオによるものとテレビによるものが中心でした。事件、事故、経済状況から催し物、安売り情報まで、それらのもので世の中の動きを見て必要な情報を取り込んでいました。ただ、これらの情報は一方通行で、必要なときに最新の情報を入手するというわけには行かなかつたのは事実ですが、朝の新聞で昨日の動きをまとめて読む、テレビのニュースで今日の動きを知るなど習慣的に情報を入手していたのも事実です。いつでも必要なときに最新の情報が入手できるということは、入手しようとしなければ何も入ってこないということです。テレビのニュースなどのようにいろいろな情報がまとめて入ってこないために、情報が偏ってしまうことも考えられます。そういった意味では今までの情報媒体との共存は必要なものとなります。情報家電などのように新しいものが出てくるとどうしてもその特徴的な面だけを見てしまうことがあります。これからそれらの機器の中に入つての生活が始まろうとしている現在、いろいろな面を見てどう対処していかなければならないかを考えていく必要はあると考えます。次回から実際の機器についての考察をしばらく連載したいと考えています。

(次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 5月22日号

特集 映らないテレビ

→BSデジタル放送が始まる。デジタルになることでビデオ、音楽、ゲーム、チケット、金融、新聞などの大量な多種多様なデータが家庭に送られるようになる。受信機にはHDDを内蔵し、映すものに加えて映さないコンテンツも配信される。放送が通信の意味合いを持つようになる。

解説 プレステ2を揺るがした「RGB問題」の真相を探る

→DVDを再生できるプレステ2。DVDには不正コピー防止信号が入っているが、DVDのビデオがVTRに録画できる場合があるというのが「RGB問題」。プレステ2からアナログRGBで映像出力し、映像信号変換機でNTSCに変換すると普通のビデオでの録画が可能になる場合がある。

○日経パソコン 5月29日号

特集 USBですっきりつなぐ

→USGを本格サポートしたWin98が登場して2年、ようやくUSB危機が充実してきた。USBの使い方のポイントと注意点、製品紹介まで。

○日経バイト 6月号

特集 不正アクセスから身を守れ

→回線にシステムを接続した場合、外からの不正アクセスに対する対策をしなければ簡単に不正アクセスされてしまうと考える必要はない。それほど専門的な知識を必要とせず使えるツールが出回っている。不正アクセスから守るには、ルータを使った低コストの対策から、進入を監視するモニタの商用ツールを使ったものもある。

特集 インターフェース新時代

→パソコンの持つ周辺機器用のインターフェースは、パソコン誕生から基本的にはISAなどの拡張スロットとシリアル、パラレルなどのコネクタを備えるなど大きくは変わっていない。しかし、これからはUSB、IEEE1394やPCカードなど新しいインターフェースでパソコンの構成が変わりつつある。

○INTERROP 7月号

特集 ASPとネットソーイングサービスの見方、選び方

→話題が先行しているASP。ここにきて本格的に進出する企業が続出し、いろいろなサービスを受けることができる。また、標準化や設備の共有化でコスト効率や使いやすさを求めるものと、アプリケーションのカスタマイズや機器構成の要求に応じるものが出てきた。ASPの現状と実際のサービスの一覧。

特集 “ワンランク上の管理ツール” を使いこなす

→ワンランク上の管理ツールとはスクリプトの活用で、単純作業の繰り返しや、GUIでは対応できないニーズに合わせた処理が簡単にできる。簡単なコマンドを組み合わせる自家製のコマンド(スクリプト)を使うことが今後の管理者の重要なスキルとなる。

○PC STYLE 21 6月号

特集 PC-ケータイ連携「超」裏ワザ大全

→携帯でWebが一般化し、もはやPDAの脇役から主役となっている。PCと組み合わせることによってもっと使える携帯情報端末になりうる。

○ASCII 6月号

特集 PCユーザが気になるキーワード256

→次々と現れる最新キーワードをHOMEやOS、MOBILEなどに分けて解説。知っているようでよくわからなかったキーワード256。

特集 DVDのすべてがわかる完全ガイド

→プレイステーション2により一段と注目されているDVD。DVDとは何なのかから、再生ソフトや周辺機器まで。

○ASCII DOS/V 7月号

特集 テレビPCを入手せよ

→高性能になったPC。テレビを受信できるようになればビデオ編集も簡単。PCでテレビを録画して、自分だけの番組を作れば、次は自分で取ったビデオの編集。対応PCからボードソフトまでの特集

特集 ハードディスク大全

→大容量化と低価格化が進んだハードディスク。新しいインターフェースの登場でますます高密度化しているが、最新のトレンドと最適なハードディスクをどう選ぶかの特集。

○DOS/V magazine 6月15日号

特集 機能、画質で選ぶ超高速ビデオカード

→ビデオカードの性能向上が早い。5年前プロ用であったものが現在3万程度で購入できる。まだまだ性能アップが続くビデオカードの最新情報と売れ筋カードの比較。

特集 Linuxの簡易PPPサーバー全設定

→Linuxを使って家庭内LAN用PPPサーバーの作り方をインストールから全設定までを順を追って解説。